

寶曆
錄
九年正月
至四月

和書門
一五八六四
類
三三八三函
架
冊

內閣文庫
和
五
三
函

內閣文庫	
番號	和 15864
冊數	38(22)
函號	164 36

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

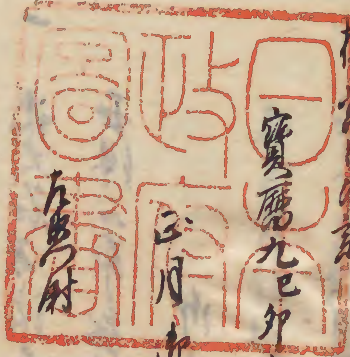
湖白

書海島書

細田丹波書

西和子書

阿蘇隆德書

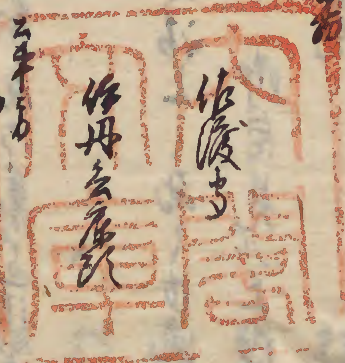


柳吉日次就

寶曆九年卯年

三月十四日

壬辰月



佐渡書

佐丹玄厚書

瑞生栞庵書

云平書

淺草文庫



三波書

信田和泉書

新見玄節書

- 一 年改（由礼方）（月已）（依別）（由春） 出所
- 一 尚同見（初年）（由銀武）（由麻）（由山）
- 一 大納言（由）（入）（由）（由） 出所 尚同見
- 一 出花中（由）（初年）（由）（元）（由）（附）（由）（宅） 概
- 一 假中（由）（象）（米）
- 一 出大石（由）（治）（方）（丈）（治）（上）（由）（由）（流）（方）（不）（附）（後）（由）（裁）

由白書院

流中納言殿

右名右後時後為...

松年抄...

右名右後時後為...

- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 松年抄...
- 酒井...

右長江津浦津浦

系

从

松年大荒去備

松年鐵渡寺

松年隆平渡寺

松年紀海寺

松年立經去備

酒田桐操寺

酒井江島村

松年右通及監

西尾隆之渡寺

松年古原史

松年恒馬寺

井上河内寺

松年備後寺

松年吾津寺

松年津波渡

松年下流寺

柳原或波去備

酒井河渡寺

又島中書寺

右名所後唐書卷之五下
後印白書院

松年紀序書
香山因情書

香田法流書

後田對馬書

香山紀序書

由良播磨書

香山紀序書

長次書後書

香田山田書

香田山田書

播磨後河書

戶田在河書

六角作禮書

堀川玄經書

右名所後唐書卷之五下
香山紀序書

元日例年
香山紀序書

大綱云
香山紀序書

香山紀序書

香山紀序書

二日

- 一 年改、出札有、正月、別作書、出所
- 一 御目見、初年、出所、出所
- 一 大御、御目見、出所、御目見
- 一 出所、御目見、出所、御目見
- 一 御目見、御目見、御目見、御目見

御目見院

尾張守相殿

松平中將殿

右名、右名、右名、右名

松平殿

右名、右名、右名、右名

大廣間

松平殿

松平殿

松平殿

有馬中將殿

松平母殿

右名有後時後...

上格大...

松年...

松年...

作...

口 城田...

口 松年...

口 丹阿...

口 松年...

有馬...

右名有後時後...

山...

吉連...

右名有後時後...

一 二日例年...

艾...

作...

柳...

柳...

柳...

仲
由西橋摩子

日光十七日
仲

大納言

仲
高野宮子

仲
仲
古意

右通三仲舟以用念之漢有山老中仲列在右所取

二日

一 在在... 仲舟見

一 大納言... 仲舟見

仲白書院... 大納言

仲舟

但... 仲舟見

仲舟

仲舟見

右通舟... 仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

仲舟

上下多別廢之者并高石町年考

其町中

一 右町人其別年一城上其方上之無居法紀中其
出法紀之修叙或方之修府面后別大廣石
出所 所目見

尾津中納言殿

右町光城

一 所之邊以載之自

口海版

銀世吏

老松 銀世吏

市所氣

其有為

新九所

長氣

東小 合秀吏

三所吏

六所

法法所

左所

右所

之所 十吏

之所

又六

弓箭吏

物九所

六所

法所

一 高砂之山獅子之山池子入古夫山何後多之并 桂樂夫
打鐵多之山奏者希每人之山波之

四日 元化年

六日 元化年

六日

一 舟社之山札者之舟山表之山后別 出所山白書院
大倉間抄之山例年 出所見古麻

一 大納言極多乃 入山表之 出所 出所見

一 山老中乃山年乃元元山何山老 城

七日

一 山例年乃山若山若之山山若乃之山月 出所 出所見

一 大納言極多乃 入山表之 出所 出所見

一 山老中乃山年乃元元山何山老 城

山老中

山老中

合拾殺
山後之山波

山老中
山老中

合拾殺
山後之山波

山老中
山老中

合拾殺
山後之山波

山老中
山老中

石上出所序 中自見古麻石所目之方 多物注載

同序

中自
中自

永新出所

松平右兵衛

中自

中自
代金共校

永新出所

井上河内守

二不為赤洞墨秋

合誠拾校
附後文眼藏

中自序目間

中自書院

中自書院

松平出所

海防

永新出所

松平富之助

藤中右大和守

永新出所

山崎守備子

大久保出所

合誠
代金共校

中自

中自

作海軍軍令

一 全書檢校

内 檢校内文
檢校印文

作海軍軍令 檢校

日光寺軍令

一 全書檢校

作海軍軍令

作海軍軍令 軍令 於同日者其後之附錄等

五海

一 全書檢校

作海軍軍令

一 全書檢校 及海軍軍令

一 全書檢校 及海軍軍令

右之全書檢校 及海軍軍令

檢校内

海軍軍令

内全書檢校

海軍軍令

八日
一 尚月上野

湯拾枝宛

正徳月
財後武光

卯三月五日

拾伍減部

内三年考案并

山中守人

作樂山三言案代

一幸福内通

作樂山脚

春亦去吏

山切去吏

右所... 河... 山...

岩有洗植 山雲和 内原代 松身在通以盛
山内戸前

全三夜

吳服脚

兼合信布

右... 山...

作...

一 尚月上野

九日

一 尚月上野

津西洗林 津西解石

所名代

藤沼間

徳島御侍

沿之夜

上京

年号

高村水悦

沿之夜

奥代

山内右衛門

子川左八郎

下京

年号

上川波布兼

沿之夜

沿之夜

奥代

山内右衛門

中仁兼

大坂

年号

河合左衛門

綿屋右衛門

奥代

或田仁左衛門

後茂小左衛門

奥代

年号

細谷左衛門

沿之夜

沿之夜

沿之夜

湯之夜

湯之夜

湯之夜

湯之夜

湯之夜

市公之御書

總代

御印之元七

奈良

年号

清水御書

徳田幼之丞

御兄

年号

上田之御書

平井拂書

徳川之書

年号

若井九氣

甲斐之丞

山下小氣

本別府

年

倉光書

御

小西御書

大坂

川邊御書

長島

淡武御書

浪波校

切見新服

坂井表六

浪波校

許庭

神 菅原

同日

墨屋

森 关校

右物出所方々々自河船行海多由所

十日

一 今度中刻古物修繕の上野慈徳寺に送る

津宮院御源社臨御位牌下口 御朱印多程申下刻

遺所

一 此書中の方書年号元元府中電 城

十一日

一 此具是く此院より之く月山書院に 出所

由目見

一 人烟多極く乃 入山表に 出所 由目見

一 此所年々此院御源社臨御位牌下口 出所

一 此所中の方書年号元元府中電 城

市黒書院

書合

市黒書院

古波大学

丹羽玄九郎

正性組

酒井清盛子組

吉田清太郎

西原清太郎

橋田清太郎

内藤清太郎

北条清太郎

花房清太郎

林元忠子

西原清太郎

吉田清太郎

内藤清太郎

石原 清太郎

一 正性組

市城清會

初行

松の中とせおとえんれと出の者

うとと玉より女宋るる付

松崎清太郎

吉田清太郎

酒井清太郎

橋田清太郎

内藤清太郎

法眼
昌桂

昌泰

昌郁

昌河

昌澄

昌友

道くす中。小男麻の身
 結成と彼の益成と唱付
 彦持持し。少成のりて
 津波の西のりて集列せし
 まし。志きり。之市乃場
 法光
 法章
 昭因
 玄名
 松益

一 町上り乃為。成ゆき場野大の上。成は在良別。選所

- 〇〇 吉田志之布
- 〇〇 松平四又
- 〇〇 作丹小治左

相原宗米馬
 芝山十之末
 河内乃池
 相原市西集
 佐之宮誠明
 酒井守之丞
 能勢助平布

布の結成市。新法庭付。結成の宛。なり。

町後二

法訪結成九節

田式

活活之助

右不也馬 右活活之助 右不也馬 右活活之助 右不也馬 右活活之助

十二日

右右不也馬

世後三

小笠原海后助

右不也馬十一日 右不也馬十一日 右不也馬十一日 右不也馬十一日 右不也馬十一日

全致投

伊半性組

右右不也馬

能替助十郎

伊半性組

能替助十郎

能替助十郎

伊半性組

能替助十郎

伊半性組

能替助十郎

伊半性組

能替助十郎

口 口 口 口 口 口 口 口

17

新巻

小嶋之権組

吉本右三郎

大巻若

平野左衛門

芝山十玄米

17 山台渡尾組

河橋少左

17

右京上土日新町上大の 上流は松尾の 出立松尾在室

此處に松尾は舟為松尾又舟為の旨由同人之御後以

橈火石

17 山台渡尾

小山五十郎

細見左衛門

17 山台渡尾

小野左衛門

松尾左衛門

山村小左衛門

17 山台渡尾

反野源八郎

福田左衛門

小林左衛門

吉本左衛門

石橋左衛門

17 山台渡尾

右京上土日新町上大の 舟為松尾又舟為の旨由同人之御後以

壬午年冬元月廿五日板倉依波子殿立佛渡江

十二日

研頭間

芝草式

能存中納云做佛名

本村文字年

水戸宰相殿御名

波辺院人

同所

右納正所立佛名古書抄子殿立佛渡江

十四日

一 尚日坊上寺

文徳院棟 沖靈倉下 沖倉代

西尾隠夜寺

十六日

一月紀之由礼之(以)月己上刻由表下出所 冲目見

一大納之由礼之(以)入由表下出所 冲目見

一 由老中(子)若年(少)元(少)寺(附)由宅 城

沖倉一問

本社立所蓋後

由表者若

喜山因幡寺記

松平因幡寺

編入古山(下)而留(下)作竹

石火渡田下

本多中務志備

而留(下)作竹

刑部(下)取(下)若(下)河野長門寺

小菅法寺
小幡山藏寺

山目付
牧野城跡

石段 所前
山目付
山白書院

一末一毫

一末一毫

17

山目付

牧野城跡

小幡山

出園物

山目付
山白書院

鏡理院

湯宿

光樹王院

根津院

昌泉院

山目付

樹下民部

探津院

作助左門

津田院

芝居

水川院

大書院

是利
字校

湯宿
湯宿寺

甲別
惠林寺

石佛十基

17

17

一末一毫

17

17

17

口

出塔一回
年改し出後

口
是利
海阿寺

左中し寺社

一 氷川河津口 津名代

依野右左衛門

一 山王権現口

大畑玄極 津名代

松平肥前守

一 出劫定事以一色因防事半在藤原下名改播磨守

中野寺下名改中口

十六日

為し名改

大車場見也

考余
渡世尚書

右に通し作付は有る年考元由に在板倉依限と殿

此作渡口

依し百

高野石堂
宇六院兼代

智光院

松雲院

上醍醐

依し依代
岩本守

時後三

同日

野之野德岳
合別地陳休福
吞海院
城之山清社五英代
後井朝貞

右名河野德岳寺田之序有紙上書

同席

光緒貳

松平陸奥守使忠
洲上筑後

右名河野德岳寺田之序有紙上書

右名河野德岳寺田之序有紙上書

燒火冒

出原良友

正周放原書後

出原良友書

中山岩澤能

右通之伴竹以旨為年分元由出在板倉佐渡島殿

主伴渡以

新由書不而滿

小言信在形

牧野誠如

右名 為原希振步因秋由書信由用是行主伴竹以旨

主伴竹以旨

十七日

一 今辰中刻 山代所云 石葉山 市宮
公方極 大綱云極 市同系云極 市社系云刻
還佛

一 由京中 子房年 市元 市代 市代 市代

十八日 乙巳年

十九日

柳之間

市後武

同

市府者
錦蓋寺
錦生
竜福寺

同

同之

市日
大中寺

是利

甲乙

市後

市柳寺

同又

石山所 市房年 市元 市代 市代 市代

市之間

市後武

市後武

同寺

出雲社 市元 市代
長治 市元 市代
市野 市代 市代
市野 市代 市代
市野 市代 市代
市野 市代 市代
市野 市代 市代

右同少青所於修繕事由在物取中深

一 右通在監殿修事使青今日中電 城

廿日

一 苗日上野

大敵院極

在 所靈河 沖谷代

有住院極

西尾院夜事

一 因不

有住院極 此是和

大納云極 沖谷代

林元個馬事

廿一日

一 大納云極所 此是極事 沖谷代 入中中列

選所

一 在為財殿右通在監殿修事使青今日中電 城

在為財殿修用者今日中電 城

廿二日

一 大納云極馬下川事 此是

一 此幼之修事 細田丹波 枕病氣月者 一 是 每夜事

此是幼事

廿三日 此是事

廿四日

一 今日坊上寺止 冲东沼并
大畑系五葉山止 冲东诸天氣お青水也川止
御出也

冲名代 西尾沼池也

一 苗日上野

海徒院極 冲北牌石止

冲名代 畑田お橋也

一 園石

冲園石極 冲北牌石止

大畑之極 冲名代 小畑古橋也

亦六日

冲使高也初也

日光冲門橋

右云然也極寺止也 且是月朔日 冲野於下也極也

中宅 畑名極也御出也

芙蓉也

田後上右和也

同 往之節

右云然也通徳也極寺止也 御出也 高也極也中宅列也

左云村殿也御出也

廿六日

一 大城守備令原中刻し正修稿の上野

至御鏡板 沖佐解而 沖中修云 沖系流は好年

中刻 還所

沖系一圓

日光

沖系代返

高修原也

右名知修府 沖目見

一 出洛紙出凡

光

南外表出備系出右俵者餘所り凡之自推し口分一し移り

但渡方より至る出備系出及科大並合出分より之右渡

一 出系云勤出俵以下三月廿九日同二月二日迄

一 同日俵方除之二月廿四日同七日迄

一 出系云勤出俵以下二月八日同十日迄

一 同日俵方除之二月十日同十三日迄

一 出役科と致出俵方除以下二月十九日同十四日迄

右日限通松極布幣屋云出系布幣屋列左之並合流云

以是二月廿四日二月廿九日迄之限但並合流方云

右條准之... 檢...

以上

布 正月廿六日

廿七日

沖使榮在道... 純存中...

右若就系...

廿八日

一月... 出...

一 大物...

一 出老中...

沖...

水戸殿... 沖使...

出...

沖口... 伏...

謝...

沖...

沖白書院

出... 曾...

出... 西...

出... 大坂... 青山...

浪武拾枝
光也又

光也又

出願

無井能宅寺

全了代

出願寺

松平因務寺

全了代
妙媛宅宅

百智宅宅

同人

同列

同列

如多中務若痛
在代如多中務

于綱一若

半年代
系劫

黒田大和寺

妙媛宅宅

妹野廻宅宅

丹羽宅宅

浪了代
二若

半年代
出願

浪井和米寺

同列

同列
仰見殿修志

堀内古馬寺

二若一若

上修宅宅

水戸寺

半年代
出願

肥田因幡

一若一若

三列

法光寺

一若一若

同列

移石寺

一本一巻

旧曆より

信願一巻

和列

富生寺

今拾枝

多由寺美書

大坂津城代吉山因幡
為引渡子被書出所
出性相書

楊南大和寺

今拾枝

大坂自付出所

出性書

古田高元院

西尾津性相

二枝古田寺

新倉寺

出願一冊

年以出札

寺由寺社

出石急務

西尾津書

上田徳元寺

津保寺

石付大徳寺

石見老翁書
通中書所見小堂後入
以迄書動以付為信應
寺

在一名

若者

松平寺

寺友寺

二月所用者

陸夜寺

信濃寺

石見寺

朽妻作寺

市川田雲寺

土原鐵前寺

一色寺

梅屋寺

物屋寺

波名寺

朔日

一月所用者

作修
清原代取

石鏡海府 即日見

高家
堀川寺

一 厚中別所修修

大畑之権 中切丸入為 入由礼迄 還所

一 已之辰刻

公方権 大畑之権 中白書院 中野 日光山 久徳 清院

中野戴古跡且上野一山 中礼有

中野口目録

中野口目録

二番一寺 全録

日光山門経

右京區船場寺臨濟宗妙法寺在船場

檢

同二

三列

栴檀寺

同三

柳別

富中寺

醍醐移醍醐仲信
被醍醐仲信

西三寺

永智栴檀仲信

祝名寺

初瀬池坊仲信

長信寺

善慶
万福寺代信
雲宗

同二

同

同

同

一

同寺

同妙

同卦

白真寺

智定院

八幡寺善信仲信

鳳塔

多士善信仲信

三浦寺

右京區船場寺臨濟宗妙法寺在船場

四日

津

一福

河

三福

田

新

山花
石老桂為記

半
如園

右
柳

柳

公方

誤檢

大納

時服

山
浦上

大
野

同
米馬

院

湊

切
右馬

右
院

院

山
中

誤
檢

院

右
人

切
右人

右
市川

八日

帝
道

細
川

松
平

右
三月

鴻安子殿江州渡江

陸一子

古史門三位傳云

浪夜

中源内通

有京山師子牙之... 朽本古作子出所特於古海

六日

崇右名初海地款

小善信組

戶田洋帝之配

浪代友

橋山傳右實

右通江作舟以首出老中出列在江... 殿上... 傳

日新

今夜

出幼生頭次

大極柱之助

今夜

浪代友

每所院出帝是

在代極柱在是

出幼生

之本傳在是

口二枚

若梅年長是

右京浪夜形上江村... 為所用... 是... 是... 是...

右接子殿江州渡江

碑... 名

右組申出り後之旨隠居書假江作渡江

日序

半片
阿吉米馬

等見者
出動能

出天古者

右組通江作付り方出月人之作渡江

燒火

小笠原

田中羽子組

一海山新子節

今由海組

田中久子節

山口氏羽子組

二編十次節

出務安石坊之儀

幸海子
吟海

真房之

宋子子
周徳

出務安石坊之儀

岩作子
岩南

好弟子
春作

柿作子
柿渡

西弟子
西火

並し遊中切系

水巾し旨

新編以不出
正切本由林坊子
並一進一
作移步風坊
正作付以

高安子
長一助
長修子
虎吉
宗久子
吉之節
子巴子
愚三節

右一通以作付以有不出法法与假正作假

七日

美奈言

上巻有以子去進

古井徳也言

坊山對馬言

渡辺鐵中言

切原大和言

右名南村大坂和者正作付以有正老中坊列在
渡辺言假正作假

菊一子進款

小倉格石

七石容儀

小石

甲出言言

如淵水子

東田清行節

酒田久吉節
天野湯吉節

少少石

少石

即中石

二百俵

八百石

少石

二百俵

留之摩之院

河内寺院

川内寺院

表川内寺

山内寺院

表内寺院

之白津寺院

松浦寺院

小野助九郎

松平寺院

松平寺院

松平寺院

松平寺院

右云作小世祖納高根大内純祖上中若入寺佛身以有治用入

之佛後泊

柳之間

西流寺院

松平寺院

山内寺院

能珠院

日光山寺院

華嚴院

名德山

德高院

前風寺

松平院

時後二

同二

同以

全三夜

時後三

全三夜

時後二

右由勝子月事一自由同人一在渡

桂一石

渡松板

時後二

新子

物事院

右由勝子月事一自由同人一在渡

八日

一 大納言入之別 還所

九日 由由事初加紙類

全取板

西庄書院右

足羽修書子組

石丸修書子

右由勝子月事一自由同人一在渡

右由勝子月事一自由同人一在渡

桂一石

井上河内守傳忠

堀之内云云

二桂一石

右由勝子月事一自由同人一在渡

十日

一 今日月事一自由同人一在渡

十一日

一 今日月事一自由同人一在渡

芙蓉

冬物之

水産

肥田固結

右之通名 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

焼火呂

小笠原

海田宮布組

山手新吉

右之通名 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

新形屋

浪拾袋

日光寺本堂用牙

植村正源

十二日 壬辰年

十二日

右之通名 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

浪拾袋

松平丹後守

上夜通屋

松平丹後守

右之通名 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

十四日 壬辰年

十六日

一月 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

一月 仰月以看小出佐治等殿以仰渡以

一 今日秋面元 山極上ノ月

一 大御所様ノ為ノ入心

一 少礼通西九ノ為ノ御礼奉別ニ送付

御白書院

御子ノ下

御子ノ下 御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下 御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下 御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下 御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

御子ノ下

一 御子ノ下

一 御子ノ下

葛蒲皮二枚

一本一斗

旧物より

全五枚
時後四羽織

江戸物布 芙蓉草

二条其石巻

大庄若丸

全五枚
時後三羽織

山口被屋
堀田由利

時後式
時後式

江戸物布 御鷲

白糸
本組長八人

江戸代

出船一回

紅白端酒二斗
又純子十斗

紅糸一斤

日引

横須賀八幡社

小河玄若

佐藤庄丸

純別

鶴巻寺

江戸

御見立

神宮寺

新加川丸

江戸物布
田沼市丸

年輪丸

左木一寺社

長崎町年輪

茶屋町年輪

赤上

浪江年輪

新田寺布

笔字對

17 二十對

沖納戸梅

年時序札

小法師手覽

17 有牌

同 若之節

浪拾段了

二系茶書山紙

高祖大活書

多目一費文了

同牌大

入沖一書 山母了了

山是書沈山揚子

小書後方

二系松光源寺系大樹寺
山彼後見山法山社也

品松角古書

十六日

一 今得し山能掃了

大納言權 山印九山乃 入年刻也 還沖

山海留

浪拾段
山彼武明紙

里村昌桂

里村玄台

洲川昌郁

洲川昌恭

坂 昌岡

浪拾段
山彼二 了

右表山脈... 自臨... 波... 山脈...

同布

漢系

一日臨寺

龜戸天神社

菅原信隆

馬場福壽社

山田氏邸

口外

收長院

芝田神社

南本寺前

上野神社

星野松益

右表山脈... 自臨... 波... 山脈...

十七日

一 五葉山 沖之 沖之代

沖之代

松平大道行監

高野 神田對馬

右表山脈... 沖之見

美草名

出羽神社

高野海雲庵

出羽社

新久乃古所

十八日

右去日光法華社山修後山園之御月以前強及修殿
之御後山

山右是部公修殿

在列修殿

丹後之修殿

作修者

一 夜修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

作修者

一 丹後修殿

在列修殿

在列修殿

在列修殿

右支城乃引渡是也乃日之立之波分志年吉元
此因法少由信原之教之師渡也

十九日

柳一石

此後式

(全三夜)
此後式

此後式

右支城乃引渡是也乃日之立之波分志年吉元

柳一石

智惠院宗大僧道隆

知高亮院

之良風年寺主云云云云
歸高亮院

紀列

轉息寺

城久德社自興

— 小河云著

德列由釋寺代傳

— 室幢寺

德野云其代

— 小中民代

寺主由威院傳信

— 幸秀

日大云院使傳

— 昌桂

長濟寺年寺

— 善願寺年寺

此後二

此後二

藤活石

此後七

右通之御付有旨小出信清等被立御座也

大旨 元禄年

秋四日

一 苗日上野

海保原 河原前 河原代 小堀和泉守

御 旨

松平政重御志

松平去八

右通之御付有旨小出信清等被立御座也

大旨

元禄年

小室信

松平和母御

川中田御志

御於遠海御志

川崎半御志

小野定吉御

大谷以御

加茂以御

長江御志

右通之御付有旨元禄年小出信清等被立御座也

信長公殿上御渡

廿六日

一 今春申刻由信長公上野

至心院極 由天祐 津廟上

大細立極 由中務言 仰希清方極己之厚刻

邊市

廿七日

由右史於信長殿

勅旨由信長

吳信長代

少程信長

右通上御渡信長公御渡申刻由信長公御渡

廿八日

一月信長御渡

一 尚日增上寺

天英御極 仰希希

仰希月言

仰希代

鏡出言

江年右通信長

池松枝

江年山

仰希月言 仰希代 仰希希

右名花露月形之通設其少兒其年者以是幼
以月乃在慶天少中少出信原之教之伴渡也
亦九日之紀年

每日

一 尚月坊上寺

有章澤極 仰天宮 仰天代 松年志原寺更

首之石地教

吾信代法為藏

小文信野大寺垣

少夜之重寫

右名花露月形之通設其少兒其年者以是幼

以渡也

此右名花露月形

史之次

少夜之重寫

此信代法為藏

大德新助

神宮之信為

右名日光信堂社法所後法用注 仰月以有打標教

以伴渡也

一 右名花露月形之通設其少兒其年者以是幼

一巻一巻

在書代り
高野宗徳方
西南院

同

高野宗徳方
仁王院

一巻一本

兼上
南都
法苑寺

二巻一巻

著述由緒
松平大膳
種子徳亮人

在書代り
巻末武

同
人

在書代り

在書代り
巻末武

在書代り
巻末武
種子徳亮人

在書代り

兼上
小笠原徳亮
初見
御目見

在書代り

一巻一本

兼上
南都
龜松院

世現

善念

善報

世現

善念

世現

大綱

即左日目錄

善念 三枚

世現

善念

善報

世現

善念

若三詳述之也

世現

公方

即左日目錄善念即枚善報十冊

世現

善念十冊

世現

善念十冊

世現

善念十冊

善報

抄本
大納言

此本目錄英令本校書物又此稿者

世院

此編之文此稿者

儲君

口以

世院

此稿又此稿者

抄本

御簾中極口

抄後之卷是種一荷

世院

口以

儲君

此編之文一性一荷

世院

抄後之卷一性一荷

右為此稿至其也

年白

17 山方目錄

山方目錄
通國最便也
通者上方極也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

17

入江古抄
一系若國白殿使也

山方目錄

古市法眼

十帖一卷

白南内侍

山方目錄

柳原希文納云

老抄入

唐橋希文納云

帝澄百録教

高三位使也

山方目錄

新麻中御子

山方目錄

山方目錄

山方目錄

山方目錄

山本之鳥

柳不若大烟云翠葉

山本之鳥

云楊柳柳

唐橋若大烟云翠葉

唐橋若大烟云翠葉

小水之水

雲之葉

雲之葉

以君柳

高村日白

以君柳

高村日白

以君柳

高村日白

石...世...孔...木...深

以君柳

以君柳

以君柳

高村日白

石...柳...對...秋...去...深...以...月...水...深...

二日

一 上...色...以...後...變...方...以...月...以...深...以...所...以...同...見

一 大...柳...之...極...之...為...入...以...春...以...所...以...同...見

一 山...老...中...方...為...年...分...元...以...是...所...以...光...懺

四日

菊石

少或石二十石

光亨子

二十又

少或石

西若匠子

上野少匠子

光亨子

二十又

七百石

生美院若敷子匠組

急代小林常為

二定浪家東頭

光亨子

光亨子

急代若松常為

少或石

大津若山匠組

松本傳右衛門

光亨子

二十又

二百石

甲府勘若

八尾丹後守

松平左衛門

光亨子

二十又

急代若松常為

小室匠組

没樂常為

三村新右衛門

光亨子

十九

少或石七石

右面曾云 柳村以首山先中出列在右極多殿為後落

遊沼名

十人技指

奥古書

小野孫也師致

字子 宗左馬 三七

有以之者出列在左之皆人之作後以

波之向

松年丹波書記

去字

戸田水名

春代松年也後書

右名丹波子彩也出進去也子之作有這以也右邊其也

乃也其以首山先中出列在右間人之作後以

菊之石極款

奇念

氷見之先

古年場見也

右之進也 後月以首山先中出列在右極多殿

之作後以

此後出山極多

柳東和共納云

口 日八

廣福堂納云

右志郎有由地乞由縁江 作有少為宅 城之為有
以之在江 作也

江後橋東地持子

尾法中納言殿

口日人

尾法筆書殿

右志郎又曰云亦氣由地乞由縁江 作有少為宅 城之為有
亦有之 以松江 作也

一 右志郎射殿由由使 有今日由宅 城之

六日

一 右志郎由地乞由縁江 有今日由宅 城之

公方権 大納言権 由沖 沖目見

一 勅使折原希大納言唐摺希大納言宅 城所縁見物

由卷息在之 生切之 而之 於席之 匠科記等之

一 尾法中納言殿同守希殿由宅 城由縁由見物所行言

匠科記等之

一 由老中言希年希氣府希由宅 城

由徳路

小堀和泉守

由徳若組

由昭之若殿

由左衛

白樂天 親世老吏

親世老吏

之布為 右名 六 荒 長 荒

兼年 大荒老夫

大荒

助九布 又二布 荒 荒

杜若 今春老夫

杜若

荒之布 荒之布 荒之布 荒之布

物多老物 十老夫

物多老物

本布氣 物七布 新九布 五之氣

後云 今四布

後十布

後十布 六之布 托九布 法九布

未唐より

未唐より

海五山伏

海五山伏

一 此中入希要紳 希蓋之衣物若括 此所希要紳蓋者 希居希要紳 希蓋之衣物若括 此所希要紳蓋者

此所希要紳蓋者

此所希要紳蓋者

右云云此不增也 仰付日方古操子殿以仰波也

七日

一 仰返書子月

云方極 大納言極由書下 出仰仰目見

一 仰老中の方若年寄元寄附在也 城

一 新仰白土院 仰返書書下 入仰波後

仰白書院

湯敷石板

綿石地

大納言極

浪石板

柳系希大納言
唐橋希大納言

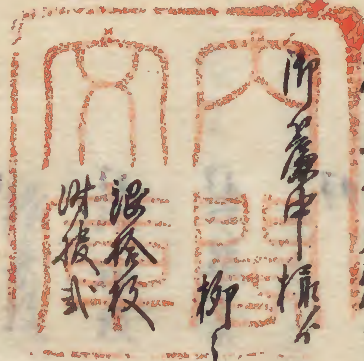
右云云此不增也 仰付日方古操子殿以仰波也

江仰波也

一 柳系希大納言唐橋希大納言仰波也

仰系中極分 仰使出用入忘時後十々

柳一石



湯敷石板
時後式

手取園田殿使云

迫前大膳丸

九条重隆使云

石井柳傳子

一 手取園田殿使云

入江古作子

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

高日内...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

有月可牙朽布云作多由序多不取誤

九日

希濫寫

細川若穂子

右志令於王御元後寫牙月也 概古撰考假以通

十日

一 今日月無之海秋林大宮殿以和勅

十一日

一 紀伊假由本府之由札之十由札元五之由月

由布 由布 由目見

一 大御衣箱之為入由布 由布 由目見

一 由老中乃送年参元之軍附由也 概

由在之間

未府

浪務及
走為干
綿之務也

紀伊中納言殿

尾津中納言殿

尾津宰相殿

紀伊中將殿

松平左衛門

右也 概

市立書院

光緒八年

市立書院建築費

出帳

市立書院

日計

市立書院

日

市立書院

明治二十代

明治二十代

市立書院

明治二十代

市立書院

日

市立書院

日

市立書院

日

市立書院

入所し書院

市立書院

出帳

明治二十代

市立書院

市立書院

大書局

市立書院

市立書院

敏上為

一 釋之純

七反

一 羅大羅紗

一 反

一 羅黃大羅紗

一 反

一 羅文大羅紗

一 反

一 白大羅紗

一 反

一 羅小羅紗

一 反

一 羅黃小羅紗

一 反

一 羅色小羅紗

一 反

一 羅羅背板

一 反

一 羅黃羅背板

一 反

一 羅文羅背板

一 反

一 真海

六反

一 尺長打遠海黃

一 反

一 上真海

三反

一 新赤海

一 反

一 尺長海黃

一 反

一 尺長大海黃

一 反

上ノ下ニシテ反ナリト
辛二反

右一通紙 作付日自申老申 申列在打標子殿 作渡日

日年

全取枚

之傳十在魚

右一紙後 申河野川新堀刻札 自筆法 是日申
多一申同人 止作渡日

日年

全取枚

全十取

申動定

西出林 申常

之紀動定

初流 申常

右一紙自申檢枕 為申用 申整 是日申 多一 自出日 止

作渡日

燒火日

申他日付

大出 申常

全十五

右一紙後 申河野川新堀刻札 自筆法 是日申
多一 自板倉 申法 是日申

十二日

右一紙 申作 申日 申是

申使 申在 申常

申法 申初 申殿

後三日

是日二

松平大福寺

姓子福翁人

高野山寺

右山所月日

十四日

大房間

時辰二十

大細玄極

時辰二十

阿婆院

如心丸

右山所月日

日所極

大世祖

名村信長

浪夜

右山所月日

出所大和寺

十六日

一月所

一尾法殿

出所 即日見

一 大内公卿以為入山寺 出所 亦同見

一 山光中乃昔年步元字對山光 城

山光中

山光中

山光中

山光中

尾法中納之殿

右 山對款於竹 山名山登意有

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

松平唯春

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

山名山登

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

源君一回由礼

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日 今高直在院

日 石山寺在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

日 小栗山在院

巾之目
巾目見

涉子代

巾目一考又

巾 巾 巾 巾

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目見

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

巾目一考又

一 石島村殿 少石殿 丹中堂 概分
 一 臨在 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹
 十六日
 一 石島村殿 少石殿 少石殿 少石殿 少石殿 少石殿 少石殿 少石殿
 十七日
 一 石島山 沖之 沖之代 松平古亭 史
 十八日 史記 年
 十九日 日
 廿日
 一 上野

有後院 柳 雲 翁 柳 翁 代 西尾 陸 翁 代

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

史記 年

石島村 通 弘 柳 翁 代 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹 少石殿 曹

史記 年

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

崇寧縣志

明上海某行見方
江作有勤内士為務
以下

明上海某行
之重為子
今之子之九節

口外

口
江某行
三月内在也

布通之 作舟以自出老中出到在右權為敬作傳讀

井二日

一 屏之 作能橋之西九之 以為 咸以子付 還所今自西九
與之少休之

進山川五條

弓八條

橋在氣

森若之者

樹則作是

出若以而

橋乃氣

藤大右

松下方物

由也氣
志久

沖

順衣

坐八卷

飯橋是而

大為是而

大佛主

松平托而

此為是而

合村在氣

酒井梅而

春月神

善信在氣

易於空而

橋田在氣

松平信而

山村千而為

後言

女四回

一 上野

源住院板

北住解西

河森

小田住院寺

御沼名

源松板

西尾

往山甲斐源松板

高桑元吉

石上老義丹外一遊没至少先一自且今年冬以遊古物以丹
為正履更多少一自三年冬元化初丹小堀打取与假以
作源以

女六回

一 大御所御記為 入真中條方一

中条組

連長中條

杉原中條

長和

坂中條

高砂

益堂一節

松原中條
雲环

坂中條

真村中條

八白三之介

常和 少

版

河内左衛門

松浦左衛門

長林

止村左衛門

坂中條

沼田 特野大虎蒲

永井大之丞

長二

沼田徳吉

之節 吉節

年賀之節

長二

小油巻取

能 岩松内伝正
目黒高松之節

沼田徳吉

長松之集

五月吉節

内宿吉節

永井大之丞

長二

白虎花士

小笠原上総守

橋本徳吉

永哲

三浦船

苗子

大島由重

松平満吉

長一

永坂吉徳

小笠原由重

白村吉徳

亦六日

一上野

吉心院坂 山久前

大納言権 市右衛門

酒井石見守

亦七日

一今日申目忌節

大納言権 市右衛門 山久前 市右衛門

燒方

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

一

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

右通寛保年中打福後最也而最役人打也
改以今心御受合洞打也此由打少以并此度
也而最家多相改役人打也打受合洞之元
上之公若以打少之也急度之打也打也
右通近科之也代友松原之也地改之也打也

外
二月

廿八日

一月並之也礼之

一人也打之也修修也

大納言 沖中九也打也 入年也打也 蓮所

廿九日

一 坊上寺

有章院 沖中九也打也 沖中九也打也 沖中九也打也

沖中九也打也

沖中九也打也

沖中九也打也

沖中九也打也

沖中九也打也

沖中九也打也

世腰也

万年六也打也

元方也打也

田次也打也

松井也打也

富永也打也

井方也打也

丸元也打也

或百俵

松年与市布

或百俵

西庄通船
大庄者
松年与市布

或百俵

大庄者
松年与市布

或百拾俵

松年与市布

或百石

大庄者
松年与市布

或百俵

松年与市布

或百拾一石

松年与市布

或百廿八俵或廿

松年与市布

或百拾俵

松年与市布

或百拾俵

松年与市布

或百拾石

松年与市布

或百石

松年与市布

或百石

松年与市布

右通新出者小庄系疎七布小場上杭酒并小庄次
小庄系疎中者松年系海子組人枚石是月出者
此物付以有打標子假之師渡也

四月 沖田書

右系書

三浦書

石見書

松平因房書

大久保對馬書

大田鐵平書

島津書

三浦書

一文書

小幡山樞書

大島書

浪野内膳

班目

一月 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書

一 大久保書 入山書 出所 沖田書 沖田書

一 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書 沖田書

沖田書院

沖田書院

松平勝之助

出所

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

沖田書院

一書一巻

仁願山光

仁願

永源寺

終目山光

東山寺塔中

禪祥院

系上

南於法源寺塔

中院

上契所社人

松下丹波

易分海中

松平信之節家来

荒尾道仁

養秋上

源子代
老為二

源子代
老為武

川

川

山物子方

大坂山月舟改

法員形上概

川渡改

初田或初

清田因清

池田德光

山後書

馬場三節無

西老市書院若

上田德光子祖

井戸内格

北條初

善院書之保七郎祖

安於年名

山崎一岡

廟子一名

17 17

山崎下町具

山崎戸持

山崎上柳

山崎下柳

山崎下柳

山崎

山崎下町

山崎下町

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

全抄録

分上書院全抄録

分上書院全抄録

焼

生活

出書

子梅休采

出書

因法

久依

沼

右名定活上名誠以月多一自松年之有禱敬

大御

二五

美善

日光十七日

市名代

大須名代市名代五

言取

出書

代

出書

出書

市名代

代

出書

出書

出書

出書

出書

出書

石之通上 作月以自山花中但了子 假借列在古多更板
上作假

代 係科我希子

小市也其如河細款

西是出河細款

之校之修子
假借列在古多更板

石之通上 作月以自山花中但了子 假借列在古多更板
出月人上作假

遊河名

石之通上 作月以自山花中但了子 假借列在古多更板
假借列在古多更板

小市也其如河細款
大為係我希子

石之通上 作月以自山花中但了子 假借列在古多更板
上作假

上河內海希和子
松平如修子

二日 上光年
四日

遊河名

小石

水野

水野

水

二石八拾壹石九年

水

水

水

水

水

小石

水

水

水

水

水

小石

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

小石

小石

道一石塚

少石八石名

少石名

口

六石名

少石

少石

留石帶流

留石物也所

留山中影也

口以中子洗石所

留石上流

留石上流

口留山松也

山民所流

板河田影也

松年所流

留石所流

留松下流所

留石田所

留石山所

口留石所

口留石所

口留石所

留石所

留石所

留石所

少石名

口

少石名

少石名

少石名

少石名

少石名

八石名

砂石依

石之依

石之依

石之依

石之依

砂石依之入持

石之依

石之依

砂石依

同

石之依

砂石依

砂石依

石之依

石之依

堀田之依

堀田上回乙之依

川口之依

川口加賀之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

交保之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

堀田之依

六日

一 出雲守殿少右衛門守今白使 柳之
右之大中若加納大和守組場古居毛組入
柳之少右衛門人 柳之

上使西元隆盛守

細川鐵守

右執事少府守

七日

一 今之守尉 柳之

柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之

柳之

上使西元隆盛守
日光寺門

右之守尉 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之

柳之

柳之

水原守

水原守

藤原院

柳之

右之守尉 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之 柳之

柳之

源之投

南法隆寺慈代

中院

源拾投

真光御序

香光寺

源後貳

上野義社人

松下丹波

源後三

島中御序

石川の月島居御序の由序持成書

一 出雲守殿御序の由序持成今由今御序 城之

八日

沖原の由

日光十七日

沖原代

高取

由良橋御序

令力投

多由御序御目之由

沖原御目

沖原代

松平記御序

源後三

石川の由

沖原

沖原代

松平御序

源後三

源後三

多由御序御目之由

板倉御序

九日

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂
高松山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

日光山門徑

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

西光寺塔

金武殿

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂
石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂
石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

石鏡山 山頂見湖 湖之西 松林之茂

十日

一 今日月並に佳報抄大分及び各動の
一 在りし書付物

備全法全書師人令及云所はれり裁許
中御上を古裁し通て書付物に交進若切令
有教書はるるに云ふも或士方は合由書付
古社上可方備り方しと云ふは行ふ裁許は
其裁許決定而下由來も其裁許は
是坊に越おすは其裁切令有教書に
成中は方り其裁許し通て書付物に
有るるは裁許り其裁許し通て書付物に
是れ其裁許り及此法は向後其裁許り
其裁許上は裁許し通て書付物に
是れ其裁許り其裁許し通て書付物に
以是裁許り其裁許し通て書付物に
是れ其裁許り其裁許し通て書付物に
有るは裁許り其裁許し通て書付物に

四月

此間付物及十冊等より中書付物に切替物に而して
陸人着板是或に其裁許し通て書付物に
德一向して其裁許り其裁許し通て書付物に

今上より打城大自出の條を指標して
下東へ向く事ありしが此に於ては苦勞多
由沙汰成て之に在るは是に依りて中
山西九西九大内取申上りて後由り申上り

四月十日

昔年得事の大是申書より由九西九五年書共今迄
細心申上り而して之を由り申上りて是に依りて
申上りて一統と酒も成り申上りて之を由りて
申上りて之を由りて申上りて之を由りて
但恐く申上りて之を由りて申上りて之を由りて

是又此を為すなり

四月

- 一 昔年得事大是申書より由九西九五年書共今迄
- 一 細心申上り而して之を由り申上りて是に依りて

十一日

- 一 昔年得事大是申書より由九西九五年書共今迄
- 一 拾七歳より二十四歳迄より由九西九五年書共今迄
- 一 五より七歳年附於此に申上りて之を由りて
- 一 何れに依りて申上りて申上りて申上りて申上りて
- 一 内下由りて申上りて申上りて申上りて申上りて

但常盤よりいりては伏見名に上り
此より上りては名は出ぬ

四月十日

福及十西屋
藤原三水正

御書

何後何御書

何御書

何御書

石ノ井日役才ノ内拾七歳ノ亦四ノ歳迄ノ更
菅野

一 昨二日上野新凌雲院

華光院極之面也忘有清香道上ノ内

一 依渡書及忘有先々ノ御書 概之

焼火ノ間

後美福院

後美福院

山田吉左衛門

六人扶持一信

右京新親王 正出ノ内ノ有長年分元也由也

高直ノ御書也御書也

十二日 正化

十二日

一 糸勤ノ内札有ノ以有御書也 出所 御書見

一 大納言御書也 入御書也 出所 御書見

一 水老中子云云年步流之建府水也 概

御書院

嘉

温之松枝
卷十

細川敏中子

日行

松年大信美

温之松枝
御守紀

松年何信美

今云云代
御守紀

松年何信美

今云云代
御守紀

松年何信美

温之松枝

立花江直信美

今云云代
御守紀

中川信直信美

今云云代
御守紀

久次上信美

今云云代
御守紀

如安江直信美

同

如安江直信美

温之松枝

如安江直信美

今云云代
御守紀

如安江直信美

全子代
老物又

全子代
瓶幅二若

全子代
老物又

全子代
老物又

口

口

口

全子代
老物又

全子代
老物二

全子代
老物又

全子代
老物又

全子代
老物二

全子代
老物二

口

口

後臺他源子

清江由相子

清江由相子

廣和泉子

増山對子

左山由相子

九層本門子

細川中務齋

修進紀許子

毛利泉馬

山下有齋

池田法法子

修安若釋子

毛利源政子

上杉謙信子

浪子代
蠟燭二名

海口洋玉

浪子代
老拍二

竹中之器

口

正及鎌石所

右 亦自見古錄

浪子代
晒十丈

御田山櫻子

浪子代
老拍武

園 橘摩子

口

高松甲斐子

口

谷 中明子

浪子代
晒定

御田丹後子

浪子代
老拍二

一柳古形子

有云多動、由孔病氣、有海老、有子、柱、白、
如、川、山、卷、有、若、海、岸、如、海、子、河、

浪子代
老拍二

上使海井在島村

口

口 松平右海屋
松平出明子

波堂和泉子

口

口

口

湯森校
老物二十

口

湯年校
老物十

湯年校
老物二十

右然所所

御賜石

口西尾

口松年七

口口人

口有馬中

口口口

口上松

口口人

口松年

口松年

口松年

口松年

口松年

口口人

口口人

水戸

之

右之

口

十四日

十宿

一月

一月

一 大城... 入... 由... 而...
一 史... 年... 史... 史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史... 史... 史... 史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

史... 史...

17

石竹之葉如一以之以上後抄

丹國其後也

光緒十

松年伯後也

光緒十

自於大後也

光緒八

亦于海西也

以以

仙承敏也

光緒八

福東雄也

光緒八

祐月依也

光緒八

智亦良也

光緒八

六江也

17

先利國也

17

智松年也

17

田村也

光緒八

白也

光緒八

若也

17

由也

17

池也

源孫叔

是為二

是為八

17

17

是為之

17

是為八

是為三

17

17

右市目見上條

市目見上條

松平左衛門

源孫叔

此而中船家條

立花和泉守

源孫叔

源孫叔

一折多條

如後左

市目見上條

十六日

西尾
奥孫叔

右氏奥孫叔

源孫叔

17
法山中要領源孫叔

小桑左衛門

西尾
源孫叔

西山年八條

右氏奥孫叔

源孫叔

十七日

一 今夜少刻五更山、御文

公方御 去納倉板引列、修車云。御同系、御文指

己、前、送而

十八日

御文

御文之檢核

御文

八本、御文、御

御文、御文、御

御文

御文、御文、御

御文七石

御文

御文、御文、御

御文、御文、御

御文

御文

御文

御文、御文、御

御文、御文、御

御文、御文、御

御文

御文

御文、御文、御

御文、御文、御

御文、御文、御

御文

御文

七石

御文之檢核

二百七拾壹石
由根石屋拾石正拾木

二百俵

二百廿石

二百俵

二百廿拾石

二百拾石

山口屋好吉宛

中振太八郎

各代国屋海兵衛

孝子

同 幸平郎

山口屋宛

山田徳右衛門

各代松島徳兵衛

孝子

同 左右馬

山口屋朝吉宛

遠方七右衛門

各代赤杉三郎

孝子

同 結城柳

山口屋朝吉宛

松下八右衛門

各代松島徳兵衛

孝子

同 左介老

山口屋朝吉宛

古材徳八郎

各代石川万右衛門

孝子

同 杉原柳

山口屋朝吉宛

神尾辰之助

各代小栗十郎

孝子

同 古丸

二拾依之人持持

口田中少羽多記

中村友吉

存後昇中書

同友八節

字一

而依内之拾依元子

七拾依法也

右名於通源居亦智以作月一有山老中少列名

右名於通源居亦智以作月一有山老中少列名

御師名

木依式人持持

小室位

藤田法吉

存持留以作書

字十七

右名於通源居亦智以作月一有山老中少列名

西元

帝造名

西元中少羽多記

巨海二石為

右名於通源居亦智以作月一有山老中少列名

十九日

一水野寺夜多殿意 山先々々作也 概

本日

一今辰中刻由修福之而和乘也

大融院神 山吳屋山書修之 山東海山柱山刻

遺跡

一 苗田上野

有徳院様

由美系

沖谷代

橋井左馬尉

沖谷代

日光十七日

沖谷代

由美系

石物海府

由目見

大一日

一 今秋秋津定下或日... 松平右近將監殿

由目見

一 大納言由目見... 入申判 遺跡

由目見

由美系

橋井左馬尉

打井市左馬尉

各代々見前

石物老意... 由美系... 橋井左馬尉

由美系... 橋井左馬尉

石物老意... 橋井左馬尉

由目見

由美系

打井市左馬尉

米穀組
名根三著改組
一建於荒次市

石名津竹秀丸出津羽衣轉向口為由。同月廿三日為之役。
自定以上百天年步元出由之在松年主商玉脚殿津澤

水二日

一 大湖急報今府山依橋之松川為由。乃由急野之為

急報

上夜肉系大和野
松年加賀寺。

石名去元十日居城燒矢。乃為山石急之

一 蒲月十日夕七時。同日十二日夕七時。正出此急令決城下

出火。廿九二九二九西九去元七十一。亦城中。山石燒矢

山石

全方二石。此急之字。不如此

城內高者

玉井市正堂

七十二人中。有十四人。山石城代。有七十二。城內

通者。一上。二。百。二人。古之。西。城。內。燒。死。由

六万七千石

切多河原寺

二万八千石

永田龍河寺

二万石

栴山寺

廿二日

一 子石

真村丹澤

二 八石

横山荒人

三 八石

和田隆徳

四 六石

中田古作

右 子石 横山 荒人 和田 隆徳 中田 古作

子石

横山 古作

但見六石 子石 六石 七石 八石 九石 十石 十一石 十二石 十三石 十四石 十五石 十六石 十七石 十八石 十九石 二十石 二十一石 二十二石 二十三石 二十四石 二十五石 二十六石 二十七石 二十八石 二十九石 三十石 三十一石 三十二石 三十三石 三十四石 三十五石 三十六石 三十七石 三十八石 三十九石 四十石 四十一石 四十二石 四十三石 四十四石 四十五石 四十六石 四十七石 四十八石 四十九石 五十石 五十一石 五十二石 五十三石 五十四石 五十五石 五十六石 五十七石 五十八石 五十九石 六十石 六十一石 六十二石 六十三石 六十四石 六十五石 六十六石 六十七石 六十八石 六十九石 七十石 七十一石 七十二石 七十三石 七十四石 七十五石 七十六石 七十七石 七十八石 七十九石 八十石 八十一石 八十二石 八十三石 八十四石 八十五石 八十六石 八十七石 八十八石 八十九石 九十石 九十一石 九十二石 九十三石 九十四石 九十五石 九十六石 九十七石 九十八石 九十九石 一百石

右 一 此 亦 日 修 進 以 委 田 之 進 言 修 進 之 由

上 使 多 甚 甚 甚 甚

作 竹 秀 九

石 名 危 隆 五 姓 以 丹 為 山 石 以 志

廿四日

一 苗 日 上 野

海 徒 院 板 沖 野 野 沖 野 板 倉 池 邊

沖 野 野 野

同 光 林 日

沖 野 野 野

松 年 紀 修 言

石 鏡 乃 野 田 目 見

一 花中但馬守大島出雲守長年守上付付南之由海
年始土家白藏書未以未以向之向後為持後使志
土州大書守之安以以守州守守。此以守守是文使志
守守守安以以安以向之向守守守守守守守守守守

大六回

守守守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守守

守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守

廿六日

石... 作... 山... 山... 山...

一 苗日上野

上野院板 所長名

大納言板 所長代

一 今... 所長代

公方板 大納言板 上... 成身元

臺向... 若大... 上院... 板

所長書院板

松平... 存代松平... 大...

所長... 板

日野... 板

左... 板

所長... 板

所長... 板

所長... 板

所長... 板

所長... 板

所長... 板

所長... 板

以高知公作有以

切 古和子珠
後代生子海美

松年冬之市名珠

名代東并信海香

丹後子
本多切信海香

小糸冬之信海香

出代

法信海香

石原冬之信海香

高知冬之信海香

中興冬之信海香

大久保冬之信海香

新奥公作有以

奥中子性

林山信海香

比多子性

市川信海香

西尾冬之信海香

信海香

信海香

西尾冬之信海香

信海香

市川信海香

信海香

二尾冬之信海香

信海香

信海香

信海香

右集（近頃組）の作有（以）名（山）若（山）の（若）本（字）殿
五作（後）の

一 今日（持）附（附）子（一）由（一）

二 我

結山（山）九（九）馬

湯井（井）新（新）三（三）節

松年（年）三（三）節（以）節

日向（向）三（三）節（節）

作（作）本（本）三（三）節（馬）

中野（野）竹（竹）三（三）節（馬）

松浦（浦）本（本）三（三）節（馬）

徳田（田）本（本）三（三）節（節）

綿糸（糸）三（三）節（馬）

老（老）一（一）子（子）

松崎（崎）七（七）節（節）

高井（井）三（三）節（馬）

川村（村）本（本）三（三）節（馬）

三宅（宅）三（三）節（節）

梶川（川）三（三）節（馬）

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

一 今日法修課出九

是

南卯年夏法備弟其信力余以九月

十日午時至一法修科之三方一積德信

一法修信備弟其信力之弟令事自死

三書修信

一 法修去古動而後以中其四月廿九日分六月

二日迄

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

石河三郎

内後修成

小笠原八郎

後子幼實

多賀三郎

野以吉平

北田如吉

松甲七郎

福永修成

法修信實

一 石後方余と四月廿四日同七日述
 一 山後方余と四月廿四日同十日述
 一 同石後方余と四月廿四日同十二日述
 一 山後方余と四月廿四日同十二日述
 一 山後方余と四月廿四日同十二日述

十二日述

右日述、西松粒帝皇の山事御表到り
 弟令法大り我と有四月廿六日海日述
 一 但令法大り我と有四月廿六日海日述
 一 但令法大り我と有四月廿六日海日述
 一 但令法大り我と有四月廿六日海日述

卯 四月

廿七日

一 月述、山後方余と四月廿七日述
 一 右通山後方余と四月廿七日述
 一 山後方余と四月廿七日述

廿八日

一 月述、山後方余と四月廿八日述
 一 大綱之條は乃入山後方余と四月廿八日述
 一 山後方余と四月廿八日述

御白書院

海子代
老梅二

老梅二

老梅序芝草名

17 二

11 二

十組一若

三梅二若

朱勸

市市大和寺

山形

板倉梅澤寺

浪野酒造

中支平徳寺

野田酒造

永井海徳寺

高橋酒造

松平甚房寺

海子酒造

尾海津初之殿徳光

志乃甲斐

老梅二

老梅序芝草名

徳目酒造

浪野

海禪寺

徳目酒造

山分寺

鹿野酒造

松平甚房寺

大町酒造

海子酒造

山分寺

十組一若

海子代
老梅二

一若一若

一若一若

山物子方

極一第

若草一第

海子代

山物一第

海子代

山物一第

糸上

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

糸上

山物一第

糸上

山物一第

山物

山物

山物一第

山物

山物一第

山物

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

山物一第

山物

山物一第

有章漢印 出雲府 山形府 伊予府 佐賀府 長門府 肥前府 肥後府 大宰府 日向府 大隅府 薩摩府 鹿兒島府 宮崎府 熊本府 大分府 福岡府 佐賀府 長門府 肥前府 肥後府 大宰府 日向府 大隅府 薩摩府 鹿兒島府 宮崎府 熊本府 大分府 福岡府

遠所

一 大御名御書所 出雲府 山形府 伊予府 佐賀府 長門府 肥前府 肥後府 大宰府 日向府 大隅府 薩摩府 鹿兒島府 宮崎府 熊本府 大分府 福岡府

有章漢印 出雲府 山形府 伊予府 佐賀府 長門府 肥前府 肥後府 大宰府 日向府 大隅府 薩摩府 鹿兒島府 宮崎府 熊本府 大分府 福岡府

右通及左通 殿所及使所 今日本也 城

